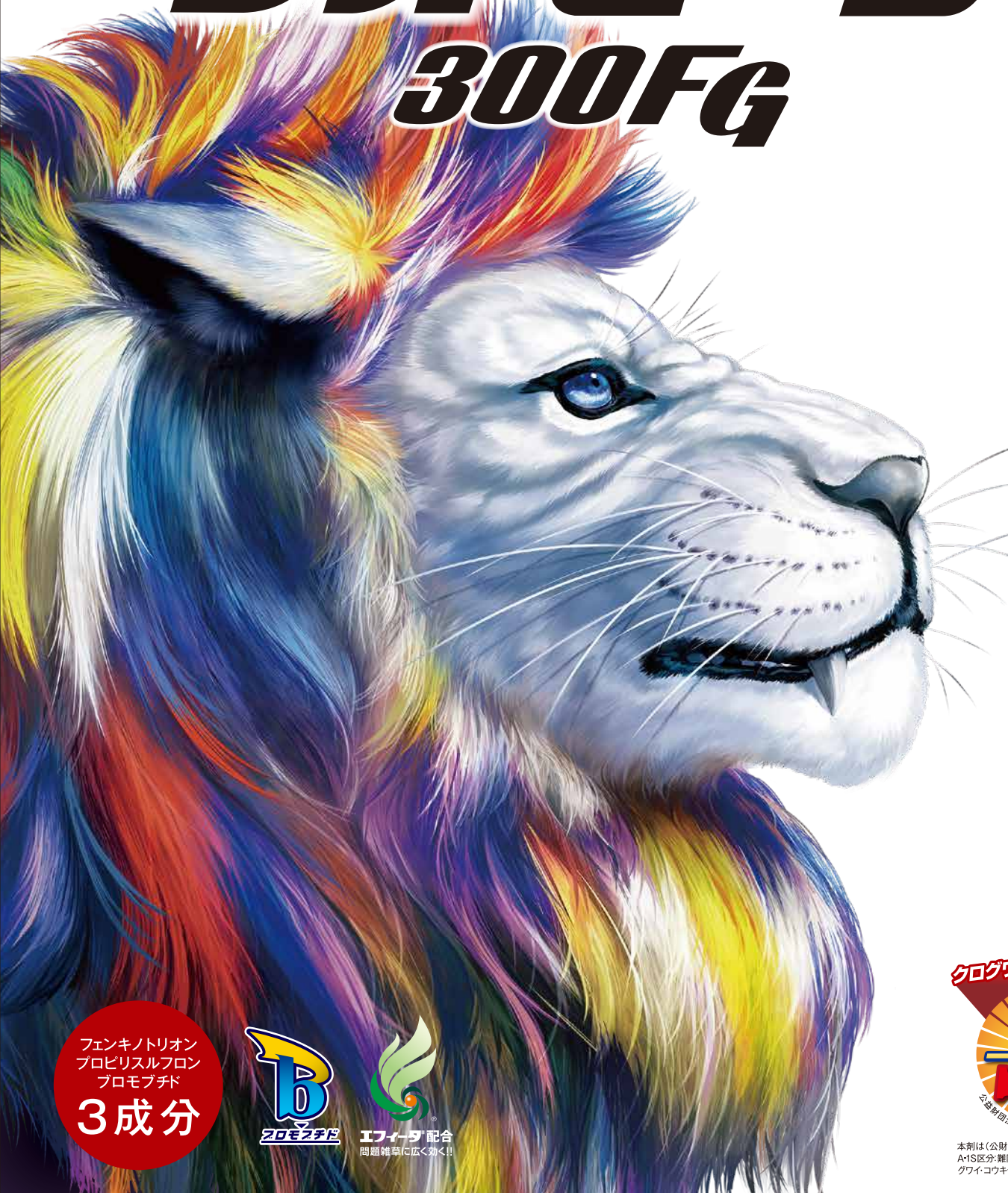


水稲用初・中期一発処理除草剤

レオゼータ[®] 300FG

狙われたら、もう終わり。



フェンキノトリオン
プロピリスルフロ
ンプロモブチド
3成分



エフィーダ[®]配合
問題雑草に広く効く!!



本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会での
A1S区分・難防除雑草一発処理(オモダカク
ロクワイ・コウキヤガラ)で判定を取得しています。

◆ノビエ4葉期に卓効 ◆SU抵抗性雑草、多年生難防除雑草に優れた効果



ノビエ



オモダカ



ホタルイ



コナギ



クログワイ



コウキヤガラ



ミスアオイ



水稲用初・中期一発処理除草剤

有効成分 フェンキトリオン ……10.0%
 プロピリスルフロン …… 3.0%
 プロモブチド …………… 30.0%

除草剤分類 **27, 2, 30**

レオゼータ[®] 300FG

- ◆ 3成分の一発処理除草剤(フェンキトリオン、プロピリスルフロン、プロモブチド)
- ◆ 高葉齢のノビエ(4葉期まで)や多年生雑草に高い効果
- ◆ ホタルイなどのSU抵抗性雑草に優れた効果

適用と使用方法

2024年9月現在の登録内容

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ ヒルムシロ、セリ	移植後3日～ノビエ4葉期 ただし、 移植後30日まで	300g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	草丈20cm以下まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
オモダカ	発生始めまで
クログワイ	草丈10cmまで
コウキヤガラ	草丈15cmまで
セリ	再生期まで

有効成分の総使用回数

フェンキトリオンを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	2回以内
---------------------	------	----------------------	------	-------------------	------



本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会でのA-1S区分:難防除雑草一発処理(オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ)で判定を取得しています。

上手な使い方

<h3>均平化作業・植付けはていねいに!</h3> <p>田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。</p>	<h3>移植深度は適正に!</h3> <p>極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。</p>	<h3>散布時の注意!</h3> <p>散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深5~6cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。</p>	<h3>散布後の注意!</h3> <p>散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。</p>
---	---	--	---

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの4葉期までに時期を失わないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がふれか出るの、必ず適期に使用するようしてください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 湛水散布または湛水周縁散布にあたっては、やや深めの湛水状態(水深5~6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ② 軟弱な苗を移植した水田。
 - ③ 極端な浅植の水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用をさけてください。
- 吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早め使用してください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 散布薬剤の飛散によって、他の作物に薬害等の被害を与えるおそれがあるので十分留意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

散布時の注意

- ドローンを用いた薬剤散布をする際は、以下のガイドライン等に記載の留意事項を事前に確認してください。
 - 「無人航空機(ドローン、ラジコン機等)の安全な飛行のためのガイドライン」(国土交通省)
 - 「無人航空機(ドローン・ラジコン機等)の飛行ルール」(国土交通省)
 - 「無人マルチローターによる農薬の空中散布による安全ガイドライン」(農林水産省)
- 圃場周辺の地理的状況(住宅地、水道水源など)、耕作状況(収穫時期の近い農作物や有機農業の圃場の近くなど)等の作業環境を十分に勘案し、実施区域および実施除外区域の設定、散布薬剤の選定等してください。
- 散布区域外への薬剤飛散(ドリフト)防止のため、圃場の端から5m以上(推奨は7.5m以上)離れた位置から圃場内に散布してください。
- 散布の際はドリフトを低減するため、
 - 風向きを考慮して飛行経路を設定してください。
 - 地上1.5mにおいて風速3m/秒以下の時に散布してください。
 - 飛行高度は作物上2m以下としてください。
 - 散布対象作物や有機農業の圃場等に危害を与える恐れがあるところでは散布しないでください。
- 適用内容以外には使用せず、注意事項を遵守してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

SC24.08.10T